



SUWADA OPEN FACTORY

秋冷という言葉がぴったりくる、肌寒い今日この頃です。
11/4 祝日の屋下がり、GALLERYの前に茶色の動物発見！
なんと、ニホンザルでした。(写真右)
ガラスに映る自分の姿を不思議そうに見つめたり、コンクリート塀をよじ登ったりして、しばらく遊んで裏山に帰って行きました。長年お住まいのご近所の方も、「この地では初めて見た」と、にわか撮影会となりました。

山の神様の使いとも言われるサルですが、近隣の里山では、群れでやってきて柿や野菜を食べ散らかしているという話も聞きます。今年は山に食べ物の木の実が少なかったようだと聞きました。今のところ、愛嬌をふりまいてくれているサルですが、もしまた遭遇した場合には、危なくないように遠くから見守ってやってください。

SUWADA OPEN FACTORYにお越しいただくと、野生のリヌやサルに会えるかも…？ しれません！

「^{こうば}燕三条 工場の祭典」は大好評でした！

去る10/2～6に開催された「燕三条 工場の祭典」は、県内外から多数のお客様にお越しいただくことができ、事業所それぞれが持ち味を活かした演出で「おもてなし」をいたしました。参加企業54もの事業所が広域に点在しているので、「とても一日では周りきれない」とのお声も多く次回開催の要望もたくさんいただきました。

「工場」として参加した私達ですが、テレビや新聞などのメディアにも多数取り上げられ、全国から非常に注目度の高いイベントとなったようです。

「こんな機会はめったにないから、他社の技術も見てみたかった」という弊社職人の声も上がり、来年の開催には職人達のスケジュールを調整しながら見学者としても参加させていただきたいと考えております。

来年の開催が決定いたしましたら、すぐにご案内させていただきますので、是非また、燕三条にお越しください！

「燕三条 工場の祭典」Facebook→ <https://www.facebook.com/koubafes>



シリーズ 職人の技を紹介(5)

～刃物に命を吹き込む(刃付け工程)



合刃(あいば)工程で、左右の刃をぴったり合わせたら、最終仕上げの刃付け工程です。拡大鏡で刃部を大きく拡大し、爪の形にそってカーブした刃を極限まで薄く研いでいきます。わずかな力加減で品物の良し悪しが決まるため、息もつけない程の集中力が必要です。削り過ぎると絶対に元に戻すことが出来ないギリギリの感覚が要求される作業です。

ひときわ繊細で丁寧な仕事求められる熟練の技が光る工程です。



この道60年の大ベテラン
小林 茂夫(76)

今後のイベント・出展情報

11/13～15 香港コスモプロフ・アジア 2013 出展 於 Hong Kong Convention Center 1

<この件に関するお問い合わせ>

(株) 諏訪田製作所 総務 小林 TEL: 0256-45-6111 e-mail: suwada@suwada.co.jp